

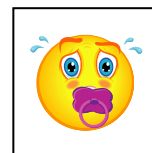
まちのくすりやさん 第56号

今回のおはなし

「RSウイルス感染症」

「ザ・タバコ」

「エピペン」



RSウイルス感染症

冬から春にかけて流行しやすい呼吸器系の「RSウイルス感染症」が、昨年は7月から目立ち始め、例年にないペースで感染が広がっています。1歳までに半数以上、2歳までにほぼ100%が感染するという「うつりやすい病気」で、人生を通じて何度もかかります。潜伏期間は、4~6日。せきや鼻水、発熱など、症状が通常の風邪と似ていて見分けにくいです。生後半年くらいまでの発熱や、熱は高くなくても呼吸がゼイゼイと苦しそうになり、顔色が悪くなったら、急いで受診する必要があります。特に、早産児、心臓や肺に持病のある子どもなどは重症化しやすいです。ウイルスに直接働く特異的な治療はなく、点滴や人工換気などの対症療法が中心になります。予防策として抗体の「パリビズマブ（製品名；シナジス）を投与する方法がありますが、保険適用の対象は重症化のリスクが高い早産児、心臓や肺に持病のある子どもなどに限られます。厚生労働省は、昨年秋これまで入院患者にしか保険適用していなかったRSウイルス検査を、1歳未満児と、パリビズマブ製剤の対象児にも拡大しました。外来でも、保険で検査できます。RSウイルスは、咳やくしゃみのしぶきや、接触、鼻水が付いた手などを介して感染するので、鼻をかんだティッシュの後始末や手洗い、うがいをしっかりして下さい。

【RSウイルス以外の気をつけたい冬の感染症】

原因ウイルス・微生物	インフルエンザ	マイコプラズマ	ロタウイルス	ノロウイルス
主な感染経路	飛沫感染		感染者の便や吐いた物に触って。ノロの場合、食中毒も	
症状の特徴	風邪より症状が強く急激で、全身的な症状。40℃以上の高熱、関節や筋肉の痛み等も	長引く乾いた激しい咳、発熱（38℃台）、だるさ。発症してから治るまで月単位	腹痛、嘔吐、下痢など	
重症化しやすい人	5歳未満の乳幼児、高齢者、妊婦、呼吸器の病気がある人等	重症化することは少ない	3歳以下の乳幼児	高齢者
重症化すると	脳症や肺炎、心筋炎など	肺炎、ギラン・バレー症候群等。合併症に中耳炎、髄膜炎も	まれに脱水で亡くなることも	嘔吐物でのどに詰まる危険性
ワクチン	ある	ない	接種期間は生後24週まで	ない
薬	タミフル、リレンザ、イナビル	抗菌薬	特効薬はない	

ザ・タバコ

禁煙に「遅すぎる」はない！

禁煙開始から時間の経過に伴って得られる効果

20分後>>>血圧が正常になる

8時間後>>>血液中の酸素濃度が正常になる

24時間後>>>心筋梗塞のリスクが減る

48時間後>>>味覚や嗅覚が回復し始める

2週間～3か月>>>循環機能が改善し、歩行が楽になる

1～9か月>>>せき、息切れ、疲労が改善する

5年>>>肺がんのリスクが半分に減る

10年>>>肺がんのリスクが非喫煙者と同程度になる

タバコをやめると、身体にいいこといっぱい！！

食物アレルギーなどによる急性ショック症状を緩和するアドレナリン自己注射薬「エピペン」が、2011年9月から保険適用となりました。アレルギーの子どもを持つ保護者と学校などとの間で、緊急時の対応を決めておくなどの備えも必要です。

注射は、医師法における「医療行為」。

厚生労働省や文部科学省は、アナフィラキシーショックを起こした子どもがいた場合、「反復継続しないなら医療行為には当たらない」と、親や教員らが応急的に打つことは違反にならないとの解釈を示しています。

インフルエンザが流行っています。のどの乾燥にはご注意を！

(社) 浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月～金: 10～15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス toiawase@urayaku.jp

ホームページ <http://www.urayaku.jp/>